

最初の一步の3歳児…

“その子の思い” “その子のペース” “その子の世界” を大切にしながら、
子どもが、自分でしたい遊びを見つけ、
安心して園生活を過ごせるようになることを大切に考えています。

♪ 3歳児の遊びの様子 ♪

“名もない遊び”

名前もつかないような…大人から見たら遊びとも言えないような…

“遊び” が愛育幼稚園の3歳児にはたくさん！！



“おもしろい” “不思議だな” “気持ちいい！”
楽しくってやめられない♪
3歳児の今しか楽しめない感覚や楽しみ方！
それだけ夢中になれるってすごいこと！！



驚きも喜びも発見も興味・関心の広がりも…
名もない遊びにはあふれています！

“どろどろ♪べたべた♪♪”

砂や、泥、絵の具や、水…いろいろな感触を感じながら…どろどろべたべたをたっぷり楽しんで、心もからだも開放されていく…五感を使って感性が養われたり、様々なモノの性質がわかっていくことにつながっていったりします。

子どもにとって心が開放されるのはとても大事なこと。
柔らかな心を育む入り口のひとつにもなります。



♪ ちょっと1コマ♪

砂場で工事ごっこを始めた男の子。大きな穴を掘って、池を作ることに…。「お水くんでくる～」とジョーロを持って水道へ。穴に水を流して、もう一度水道に水くみへ…戻ってくると“あれれ…水がなくなってる…”
「だ～れ？ぼくのお水とったのっ！」笑

“自然との出会い”

3歳児に大人気のダンゴムシ♪
ゆりぐみのお兄さんがとってカップに入れてくれました！
「(勇気を出して触ってみたら…)クルンってなったよ！」



“見立てて遊ぶ”いろいろな素材や道具との出会い”

幼稚園でいろいろなモノと出会う子どもたち。
そこには、大人には思いつかない遊び方、楽しみ方がいっぱい！！



大好きな電車ごっこ。
よく見ると…
運転席においてあるのは、
ままごと用のコンロに
“逆さ”に置いた
お鍋とフライパン！
“お鍋とフライパン”が…
ぼくにとってのハンドル♪
左右に回して「出発進行～！」

♪ちょっと1コマ♪

いろいろなものを作って遊べるようにと用意したもののなかにあった細長く切った色紙。
“あれ？落ちてる”と担任が床にある色紙を拾おうとすると…
「ちょっと、先生とらないで！」「ん？」「それ、(汽車遊びの)駅にしてるんだから！」

ふと見ると隣では同じ紙を数枚お面バンドにつけて、かぶっている女の子。
「何に変身してるの？」「お母さんだよ！」
…もしかして、かつら…？笑

してみたいこと、好きな遊びを見つけながら、3歳児は、幼稚園の生活を送っていきます。してみたいことや好きなことは、大人が教えてあげられるものではありません。大切なのは、その子の心がどう動くか…その子自身が、どうそれを見つけていくか…ということ。ゆったりとした時の中で、その子のペースで、様々なモノや人と関わり、これが好き！を見つけてくことを大切にしています。

“友だちとの出会い”

一人でモクモク…友だちと近くで遊んでいるけれどしていることはバラバラ…。友だちと関わっていても、瞬間的、その場で出会って触れあったり遊んだり…それが3歳児にとっての友だち。「友だち作らなきゃ！」って焦らなくて大丈夫…大好きな遊びを通して、自然に友だちと出会っていきます。

偶然出会った友だちと…
「何してるの？」
「かばさんの歯磨き」



ジョウロからこぼれた水が広がって…大きな池に！！
何だか楽しそう♪と自然に集まってきた子たち。
一見、一緒に遊んでいるようですが、よ〜く見ると…
楽しんでいることはそれぞれ違います♪



“みんなで…♪♪”

人と一緒に嬉しい！楽しい！！という気持ちを基に…みんなで過ごすことの楽しさも次第に感じられるようになっていきます。



オオカミとコブタに変身して追いかっこ。

(3歳児は、何かになるのも大好き♪)

みんなで走るのって楽しいな♪

今日、途中で転んじゃったら、〇〇くんが頭
なでなでしてくれたんだよ！！



ぐちゃぐちゃだって大事な経験！！

3歳児は、遊びだって着替えだって一生懸命。自分のことで精一杯！だから周りが見えないのは当たり前。同じ場においてもそれぞれの遊び。着替えも、お友だちの着替えている洋服の上に乗って着替えてしまうことも。3学期にしている子ども会(表現活動を保護者に見て頂く会)でも、形に捉われない、それぞれが自由に楽しむ姿…なので、やっぱりぐちゃぐちゃ…。…愛育幼稚園では、その3歳児のぐちゃぐちゃをととても大切にしています。ぐちゃぐちゃの時期をたっぷり経験し、自分の思いをいろいろな形で表現し、受け止められることで、たくさんの力を蓄えていきます。すると、自然とそこから少しずつ周りに目が向くようになるのです。



今日も楽しく遊んでいるから…
ぐちゃぐちゃ



お友だちと一緒に着替えたら…
やっぱりぐちゃぐちゃ

音楽に合わせて、動くと、楽しい♪
思い思いにからだを動かして表現し
ているから…なんだかぐちゃぐちゃ。



家庭から離れて、子どもたちはさまざまな人、モノ、場と出会い、社会とつながっていきます。その最初の一步の3歳児。これが好き！こうしたい！これはイヤ！こう思う！など安心して自分を出せることが何より大切です。それが、“自分”を作っていく…、またこれから様々な人と出会い、関わっていく…基となるのだと思います。そのためには、まず大人がありのままのその子を受け止めていくことが何より大切！その温かい受け止めが、その子の“このままの自分がいいんだ”という肯定感や安心感を育てていきます。家庭だけでなく、幼稚園もそんな場所になっていくように、ありのままのその子を受け止めながら、その子自身が様々な一歩を踏み出していけるように支えていきたいと思っています。子どもの世界、遊び、ペースを大事にできる時間、場所、眼差しのあふれた場でありたい。。。3歳児ならではの発想や世界と一緒に存分に楽しみながら！愛育幼稚園では、子どもだけでなく、保護者の方との関わりも大切に考えています。いろいろな発見、驚き、感動、時には悩みを保護者の方と共有しながら一緒に子どもの成長を見守りたいと思っています。